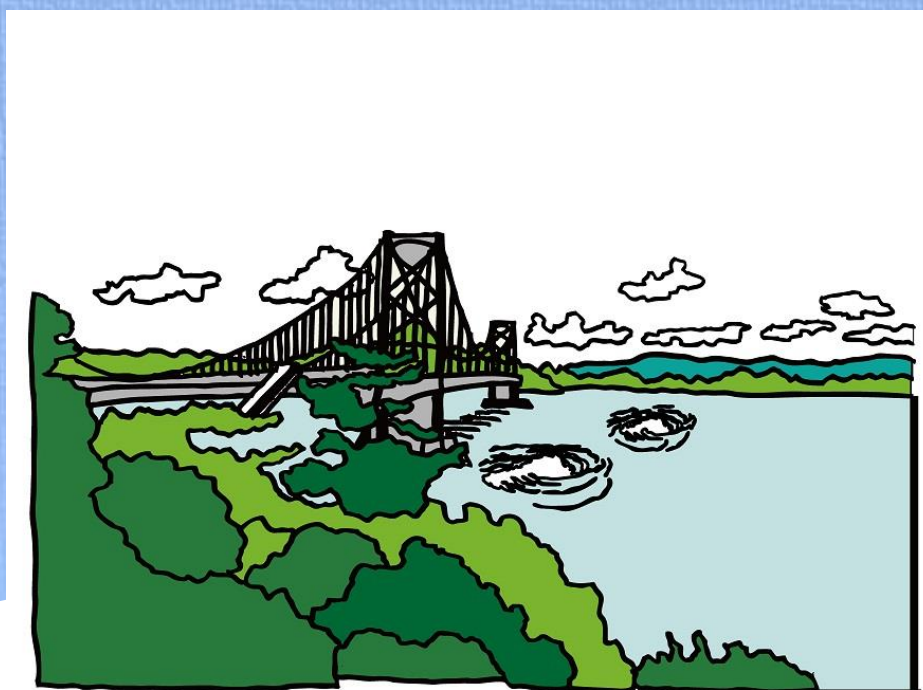


# わたしたちのマチの 景況レポート No. 12

2017年10~12月期実績・2018年1~3月期見通し



大鳴門橋

## 調査概要

1. 調査対象期間：2017年10～12月期実績 2018年1～3月期見通し
2. 調査方法：営業店調査員による共通の調査表に基づく「聴取り」方法
3. 調査企業数：531企業（有効回答数528企業 回答率99.4%）  
※有効回答数のうち従業員20人未満の企業が占める割合は80.6%

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	地区合計
淡路地区	64	50	67	59	71	19	330
神明地区	65	25	15	29	44	20	198
業種合計	129	75	82	88	115	39	528

4. 分析方法：売上、収益、価格、人手不足、資金繰り、設備等の各質問項目について、D. I. (Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス) に基づき分析しております。  
※D. I. とは経済全体または個別の経済事象について、その変化の方向とスピードをとらえるための指標で、景気動向調査に多く利用されております。  
※D. I. = 「良い（増加）（上昇）」と回答した企業割合－「悪い（減少）（下降）」と回答した企業割合により算出し、不変部分を除き「増加」と回答した企業と「減少」と回答した企業のどちらの力が強いかを時系列的に並べる方法です。
5. 調査地区：淡路信用金庫の事業地区  
洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、  
尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市
6. 特別調査：2018年（平成30年）の経営見通し

【業種別・地区別 天気図】

業種	全事業地区			淡路地区			神明地区		
	2017年 7~9月 (前期)	2017年 10~12月 (今期)	2018年 1~3月 (見通し)	2017年 7~9月 (前期)	2017年 10~12月 (今期)	2018年 1~3月 (見通し)	2017年 7~9月 (前期)	2017年 10~12月 (今期)	2018年 1~3月 (見通し)
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									



【業況判断 D. I. 時系列表】

業況判断D.I.時系列表

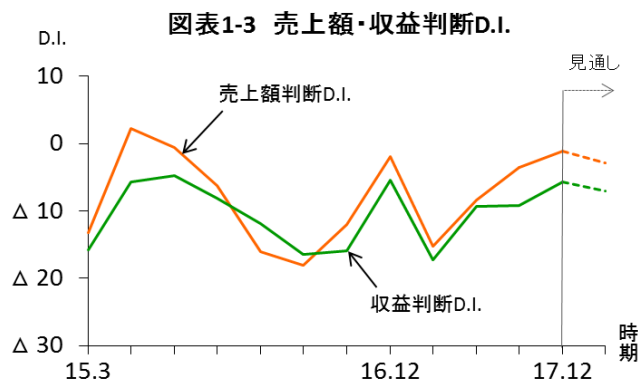
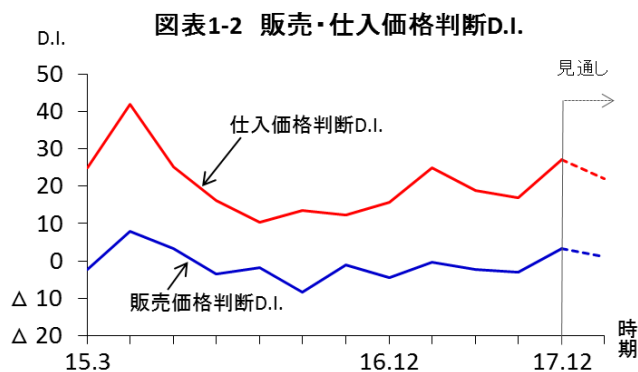
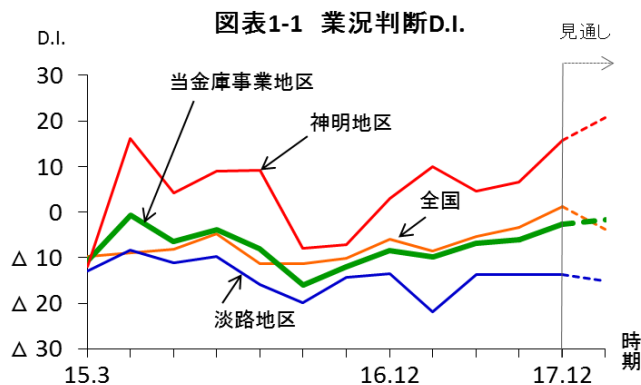
	実績												見通し 2018年 3月期
	2015年 3月期	2015年 6月期	2015年 9月期	2015年 12月期	2016年 3月期	2016年 6月期	2016年 9月期	2016年 12月期	2017年 3月期	2017年 6月期	2017年 9月期	2017年 12月期	
<b>全事業地区</b>													
総合	-10.8	-0.6	-6.4	-3.8	-8.0	-16.1	-12.1	-8.4	-9.8	-6.9	-6.1	-2.7	-1.7
製造業	-13.5	-5.6	-22.2	-1.4	1.4	-11.1	-11.3	-9.9	-6.3	-11.7	0.0	5.4	7.0
卸売業	-34.7	4.3	-4.3	-10.6	-13.6	-26.7	-17.8	-9.1	-6.8	-8.1	-10.7	-14.7	-8.0
小売業	-23.9	-25.5	-31.9	-21.3	-25.0	-44.7	-29.8	-19.1	-20.9	-29.3	-22.2	-31.7	-30.9
サービス業	1.9	15.4	19.2	5.8	-18.0	-17.0	-1.9	-5.7	-19.3	1.1	-4.7	-4.5	-5.7
建設業	12.0	10.3	6.0	5.9	0.0	-1.5	-5.9	-3.0	0.0	2.7	-2.7	13.9	13.9
不動産業	-6.5	-9.7	0.0	-9.7	3.3	0.0	-9.7	-3.3	-10.3	12.8	2.6	10.5	5.3
<b>淡路地区</b>													
総合	-12.9	-8.3	-11.1	-9.7	-16.0	-19.8	-14.3	-13.6	-21.8	-13.8	-13.8	-13.7	-15.2
製造業	-25.0	-14.3	-18.6	-2.3	-14.0	-14.0	-7.0	-7.0	-30.2	-23.4	-15.6	-9.4	-14.1
卸売業	-24.2	0.0	0.0	-3.1	-10.0	-22.6	-9.7	-20.0	-18.4	-22.4	-14.0	-24.0	-28.0
小売業	-20.0	-31.7	-36.6	-29.3	-28.6	-46.3	-34.1	-19.5	-29.0	-34.3	-28.8	-34.3	-34.8
サービス業	5.1	15.4	15.4	-2.6	-16.7	-12.8	-2.6	-15.4	-27.1	3.4	-3.4	-20.3	-16.9
建設業	-2.3	-6.7	-15.9	-8.9	-11.4	-8.9	-20.0	-14.0	-7.0	-1.4	-7.1	9.9	9.9
不動産業	-11.1	-11.1	0.0	-11.1	-11.8	-11.1	-5.6	0.0	-15.8	15.8	-10.5	5.6	-5.6
<b>神明地区</b>													
総合	-11.9	16.2	4.2	8.9	9.1	-8.0	-7.1	3.1	10.0	4.6	6.6	15.7	20.7
製造業	3.3	-5.6	-27.6	0.0	24.1	-6.9	-17.9	-14.3	16.9	0.0	15.4	20.0	27.7
卸売業	-56.3	14.3	-14.3	-26.7	-21.4	-35.7	-35.7	14.3	16.0	20.0	-4.0	4.0	32.0
小売業	-50.0	16.7	0.0	33.3	0.0	-33.3	0.0	-16.7	11.8	-6.7	6.7	-20.0	-13.3
サービス業	-7.7	15.4	30.8	28.6	-21.4	-28.6	0.0	21.4	-3.4	-3.4	-7.1	27.6	17.2
建設業	39.1	43.5	47.8	34.8	21.7	13.0	21.7	17.4	11.4	9.3	4.7	20.5	20.5
不動産業	0.0	-7.7	0.0	-7.7	23.1	15.4	-15.4	-8.3	-5.0	10.0	15.0	15.0	15.0

### 業況は改善するも人手不足が過去最低に

・ 今期(17年 10~12月)の業況は▲2.7と前期(17年 7~9月)比3.4ポイント改善した。改善は3四半期連続で、前回調査時の今期見通し(▲2.9、3.2ポイントの改善)を上回った。来期(18年 1~3月)もさらに1.0ポイント改善し▲1.7となる見通し。地区別に見ると、神明は9.1ポイント改善の15.7に対し、淡路はほぼ横ばいの▲13.7となった。来期は神明で5.0ポイント改善の20.7、淡路で1.5ポイント低下の▲15.2となる見通し。業種別に見ると、卸売業と小売業を除く4業種で改善した。(図表 1-1)

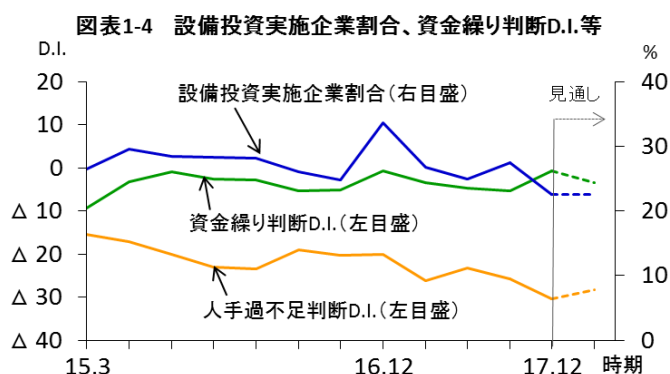
・ 販売価格は3.4と前期比6.3ポイント上昇、仕入価格は27.0と同10.1ポイント上昇し、利幅は低下したものの、売上額は▲1.1と同2.5ポイント改善し、収益は▲5.7と同3.5ポイント改善した。(図表 1-2、1-3)

・ 人手不足は前期比4.5ポイント低下の△30.3(マイナスは人手不足「超」)で過去最低となり、さらに深刻さが増した。資金繰りは▲0.8と同4.5ポイント改善、設備投資実施企業割合は22.5%と同4.9ポイント低下した。(図表 1-4)



(D.I.)

	2017年 7~9月 (前期)	2017年 10~12月 (今期)	2018年 1~3月 (見通し)
業況	-6.1	-2.7	-1.7
売上額(前期比)	-3.6	-1.1	-2.9
売上額(前年同期比)	-4.2	-4.0	
収益(前期比)	-9.2	-5.7	-7.0
収益(前年同期比)	-8.4	-6.7	
販売価格(前期比)	-2.9	3.4	1.1
仕入価格(前期比)	16.9	27.0	21.9
人手過不足(過剰-不足)	-25.8	-30.3	-28.2
資金繰り(楽-苦)	-5.3	-0.8	-3.4
設備投資実施企業割合(%)	27.4	22.5	22.6



業況は調査開始以来最高に

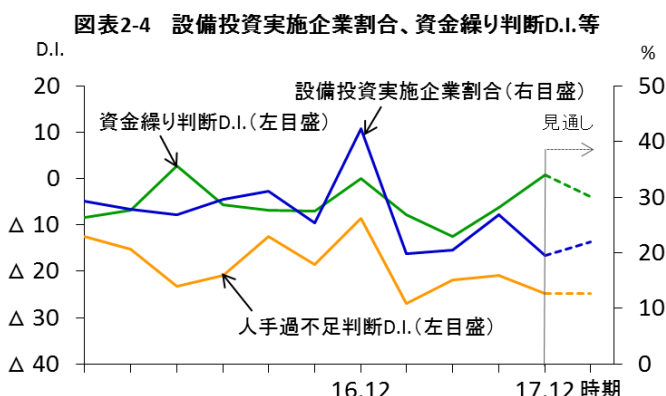
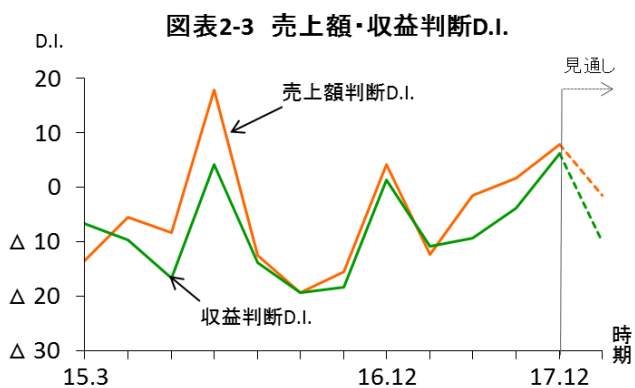
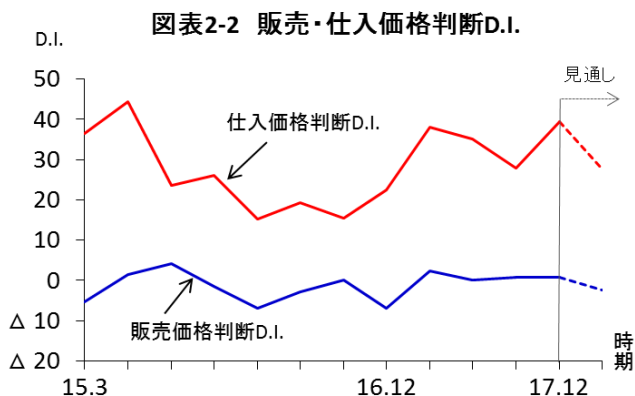
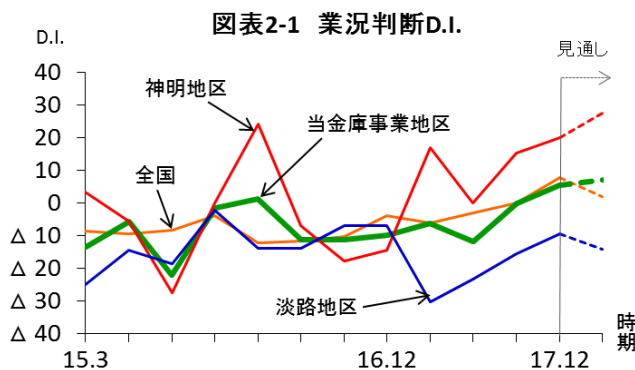
・業況は 5.4 と前期比 5.4 點改善し、調査開始（15 年 3 月）以来最も高かった。来期もさらに 1.6 點改善し 7.0 となる見通し。地区別に見ると神明は同 4.6 點上昇の 20.0、淡路でも依然マイナス水準にあるものの同 6.2 點改善し▲9.4 となった。来期は神明でさらに 7.7 點改善の 27.7 となる見通し。（図表 2-1）

・販売価格は横ばいの 0.8 に対し、仕入価格は前期比 11.5 點上昇の 39.4 と、利幅は低下したが、売上額は 7.8 と同 6.2 點改善し、収益は同 10.1 點上昇の 6.2 とプラス水準に転じた。（図表 2-2、2-3）

・人手不足は▲24.8 と前期比 3.9 點低下し、17 年 3 月調査（▲27.0）に次ぐ厳しい水準となった。資金繰りは 0.8 と同 7.0 點改善しプラス水準（プラスは資金繰り「楽」が「苦」を上回る状態）、設備投資実施企業割合は 19.5%と同 7.3 點低下した。（図表 2-4）

(D.I.)

	2017年 7~9月 (前期)	2017年 10~12月 (今期)	2018年 1~3月 (見通し)
業況	0.0	5.4	7.0
売上額(前期比)	1.6	7.8	-1.6
売上額(前年同期比)	2.3	7.8	
収益(前期比)	-3.9	6.2	-10.1
収益(前年同期比)	0.0	5.4	
販売価格(前期比)	0.8	0.8	-2.3
仕入価格(前期比)	27.9	39.4	27.6
人手過不足(過剰-不足)	-20.9	-24.8	-24.8
資金繰り(楽-苦)	-6.2	0.8	-3.9
設備投資実施企業割合(%)	26.8	19.5	22.0



○お客様の声

受注が安定しており、10~12月期の売上、受注額ともにやや増加したが、原材料の高騰により収益は前年と同程度となっている。今後、販路の拡大、機械化の推進を重点課題とする。（洲本市）

売上が増加するも経費面での支出が大きく、利益はやや減少した。現状、かなりの人手不足となっており、情報を強化し、良い人材の確保に努めることが売上、収益増加への課題である。（明石市）

売上・収益ともに低下し、依然厳しい業況

・業況は▲14.7 と前期比 4.0 ㊦低下し依然業況は厳しい様子。来期は▲8.0 と今期実績比 6.7 ㊦改善の見通し。地区別に見ると、淡路は▲24.0 と前期比 10 ㊦低下したが、神明は 4.0 と同 8.0 ㊦改善し、地区によって大きく差が見られた。来期は神明でさらに 28.0 ㊦大幅改善し、32.0 となる見通し。

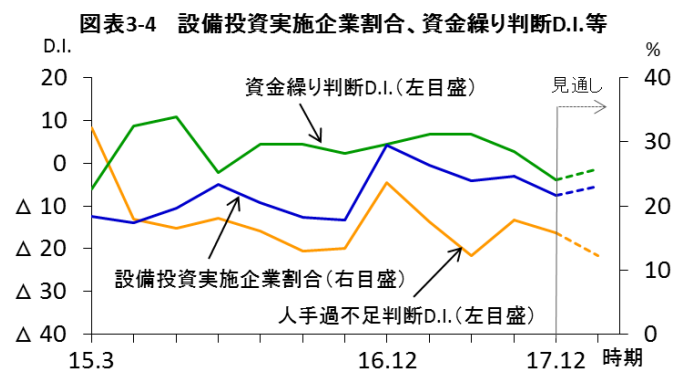
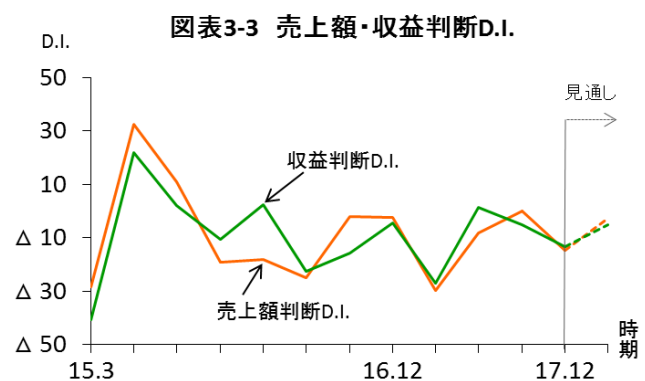
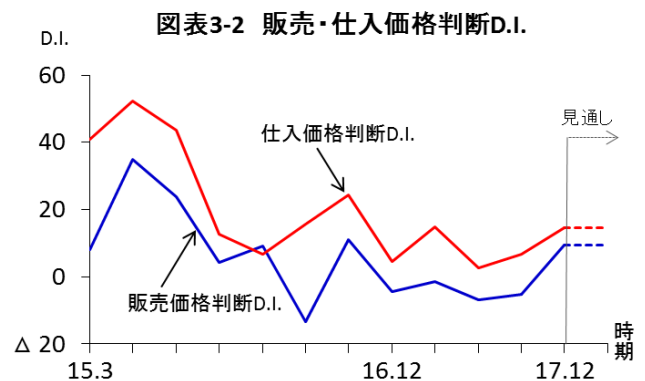
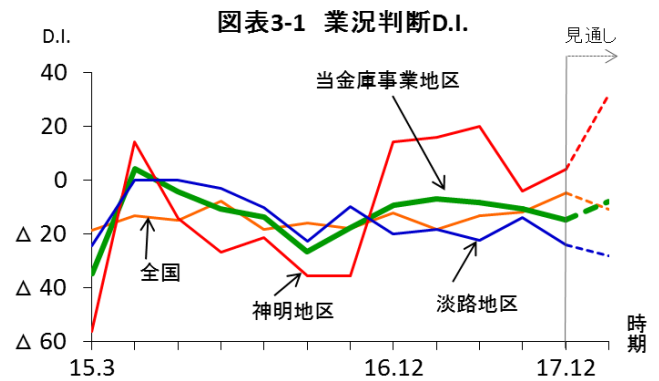
(図表 3-1)

・販売価格は 9.3 と前期比 14.6 ㊦上昇したが、仕入価格も 14.7 と同 8.0 ㊦上昇した。また、売上額も ▲14.7 と同 14.7 ㊦低下し、収益は▲13.3 と同 8.0 ㊦低下した。(図表 3-2、3-3)

・人手不足は▲16.4 と前期比 3.1 ㊦低下し人手不足感はさらに強まった。資金繰りは▲4.0 と同 6.7 ㊦低下しマイナス水準（マイナスは資金繰り「苦」超）に転じた。設備投資実施企業割合は 21.6% と同 3.1 ㊦低下した。(図表 3-4)

(D.I.)

	2017年 7~9月 (前期)	2017年 10~12月 (今期)	2018年 1~3月 (見通し)
業況	-10.7	-14.7	-8.0
売上額(前期比)	0.0	-14.7	-2.7
売上額(前年同期比)	-12.0	-14.7	
収益(前期比)	-5.3	-13.3	-5.3
収益(前年同期比)	-18.7	-12.0	
販売価格(前期比)	-5.3	9.3	9.3
仕入価格(前期比)	6.7	14.7	14.7
人手過不足(過剰-不足)	-13.3	-16.4	-21.6
資金繰り(楽-苦)	2.7	-4.0	-1.3
設備投資実施企業割合(%)	24.7	21.6	23.0



○お客様の声

主要商品の仕入価格が上昇し、販売価格に転嫁するも、取扱量の減少により売上高は変わりなく横ばい状態。これ以上の価格上昇は、売上げに影響するため経費節減を重点としていく。(洲本市)

消費低迷により業界全体が冷込んでおり減収を余儀なくされている。大手小売店との取引深耕及び関連会社のインターネット販売部門が好調な為、同業者者に比べ売上減少は最小限に留まっている。(神戸市)

業況は 6 業種の中で最も厳しい

- ・ 今期の業況は▲31.7 と前期比 9.5 ㊦低下し、前回同様 6 業種の中で最も厳しい状況となった。来期もほぼ横ばいの▲30.9 の見通し。地区別に見ると、淡路は前期比 5.5 ㊦低下し▲34.3、神明も同 26.7 ㊦低下し▲20.0 とマイナス水準に転じた。なお、神明は来期 6.7 ㊦改善し▲13.3 となる見通し。

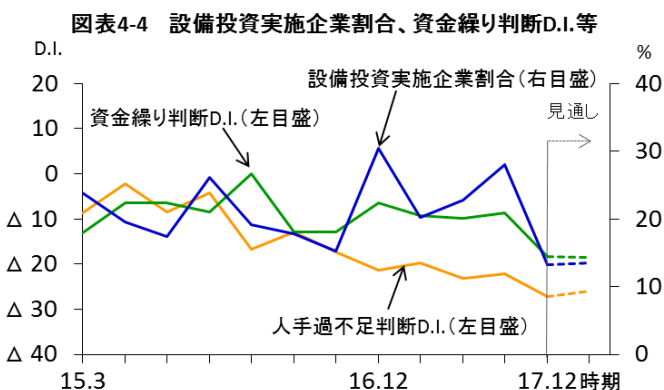
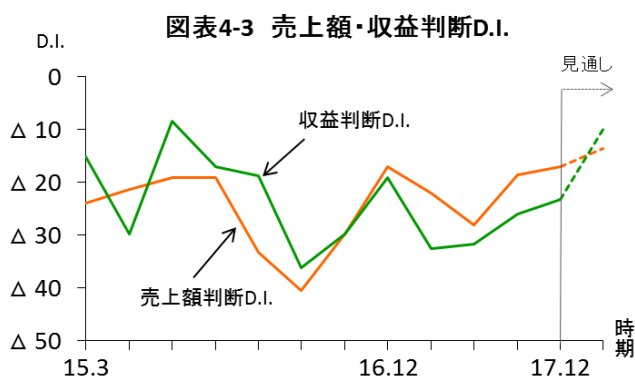
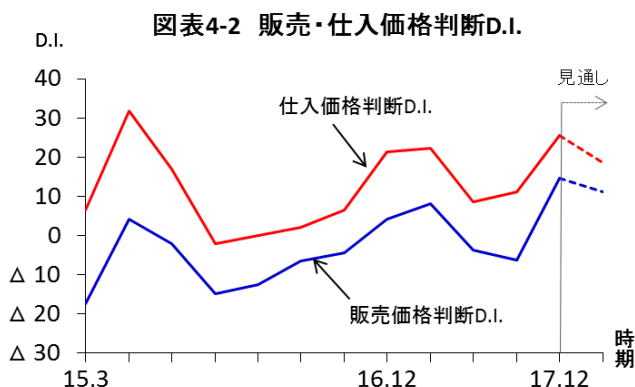
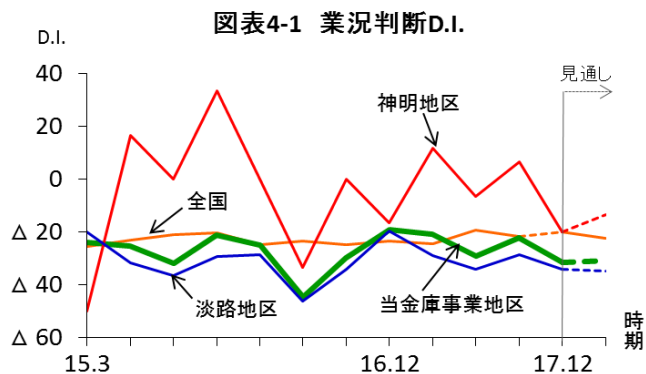
(図表 4-1)

- ・ 販売価格は前期の▲6.2 から 14.6 とプラス水準に転じたが、仕入価格も 25.6 と前期比 14.5 ㊦上昇し利幅の改善には至らなかった。ただし、売上額は▲17.1 と同 1.4 ㊦改善し、収益は▲23.2 と同 2.7 ㊦改善した。(図表 4-2、4-3)

- ・ 人手不足は前期比 5.0 ㊦低下の▲27.2 で過去最低となり、さらに深刻さが増した。資金繰りは同 9.7 ㊦低下の▲18.3 となり、資金繰り「苦」とした企業が増加した。設備投資実施企業割合は同 14.8 ㊦低下の 13.2% となった。(図表 4-4)

(D.I.)

	2017年 7~9月 (前期)	2017年 10~12月 (今期)	2018年 1~3月 (見通し)
業況	-22.2	-31.7	-30.9
売上額(前期比)	-18.5	-17.1	-13.6
売上額(前年同期比)	-13.6	-24.7	
収益(前期比)	-25.9	-23.2	-9.9
収益(前年同期比)	-18.5	-33.3	
販売価格(前期比)	-6.2	14.6	11.1
仕入価格(前期比)	11.1	25.6	18.5
人手過不足(過剰-不足)	-22.2	-27.2	-25.9
資金繰り(楽-苦)	-8.6	-18.3	-18.5
設備投資実施企業割合(%)	28.0	13.2	13.5



○お客様の声

長年の業歴から固定客が多く、業況は比較的安定しているが、営業地区内の人口減少、立地する商店街の集客力低下など、課題も多い。(淡路市)

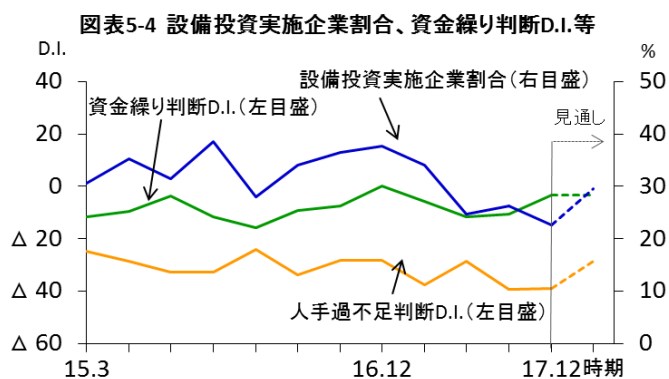
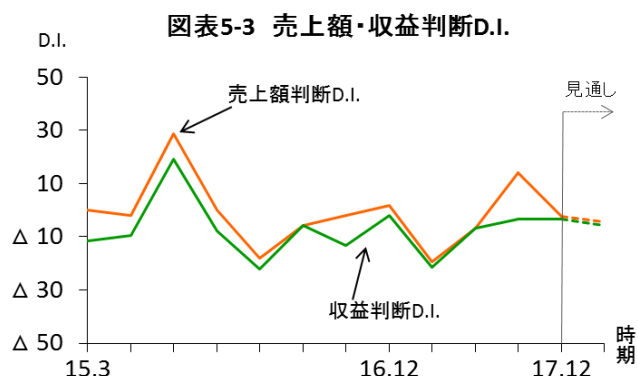
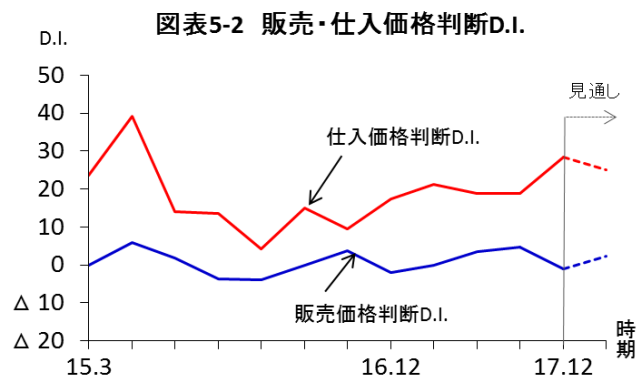
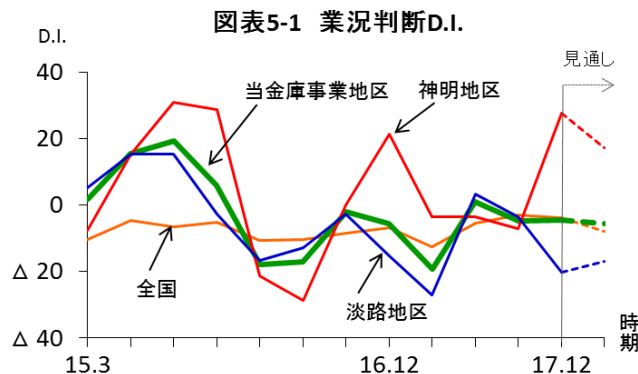
電化製品の小売は大手量販店との競合により厳しいが、地元での営業実績が長く、地域のつながりを活かして営業している。アフターフォロー等、サービス面で勝負していく。(神戸市)

### 業況は淡路▲20.3、神明 27.6 と差 人手不足は深刻な状態が続く

- 業況は▲4.5、前期比 0.2 ㊦改善とほぼ横ばいで推移した。来期は 1.2 ㊦低下し▲5.7 の見通し。地区別に見ると、淡路は▲20.3 と前期比 16.9 ㊦低下したが、神明では 27.6 と前期の▲7.1 から 30 ㊦超改善しプラス水準に転じた。来期は神明で 17.2 と 10.4 ㊦低下するも好調を維持する見通しであるが、淡路は▲16.9 と改善は 3.4 ㊦にとどまる見通しで依然厳しい模様。(図表 5-1)
- 仕入価格が 28.4 と前期比 9.6 ㊦上昇するなか、販売価格は▲1.1 と同 5.8 ㊦低下、加えて売上額も▲2.3 と同 16.3 ㊦低下したが、収益性は▲3.4 とほぼ横ばいで推移した。(図表 5-2、5-3)
- 人手不足は▲39.1 と依然マイナスが大きく、深刻な状態が続いている。資金繰りにおいても前期比 7.1 ㊦改善するも▲3.4 とマイナス水準(マイナスは資金繰り「苦」超)が続き、設備投資実施企業割合は 22.6% と同 3.6 ㊦の低下となった。(図表 5-4)

(D.I.)

	2017年 7~9月 (前期)	2017年 10~12月 (今期)	2018年 1~3月 (見通し)
業況	-4.7	-4.5	-5.7
売上額(前期比)	14.0	-2.3	-4.5
売上額(前年同期比)	3.5	-1.1	
収益(前期比)	-3.5	-3.4	-5.7
収益(前年同期比)	-5.8	2.3	
販売価格(前期比)	4.7	-1.1	2.3
仕入価格(前期比)	18.8	28.4	25.0
人手過不足(過剰-不足)	-39.5	-39.1	-28.7
資金繰り(楽-苦)	-10.5	-3.4	-3.4
設備投資実施企業割合(%)	26.2	22.6	29.6



#### ○お客様の声

人材不足を懸念する企業が多い中で福利厚生面の充実を図り有能な若手従業員を多数雇用。教育訓練を定期的に行うことで従業員能力の向上を図っている。  
(淡路市)

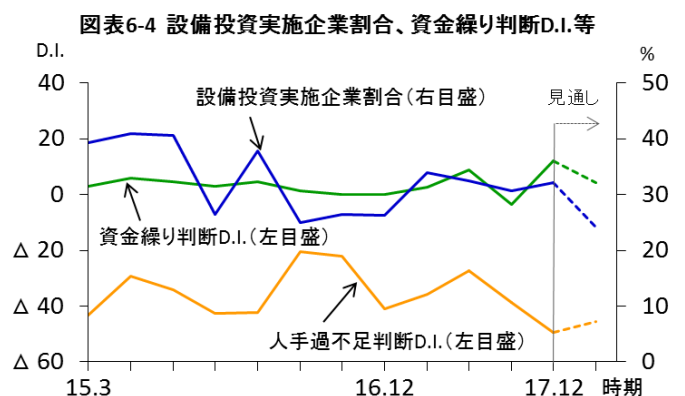
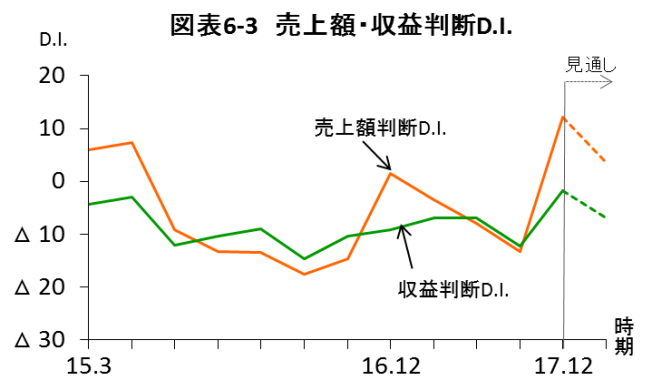
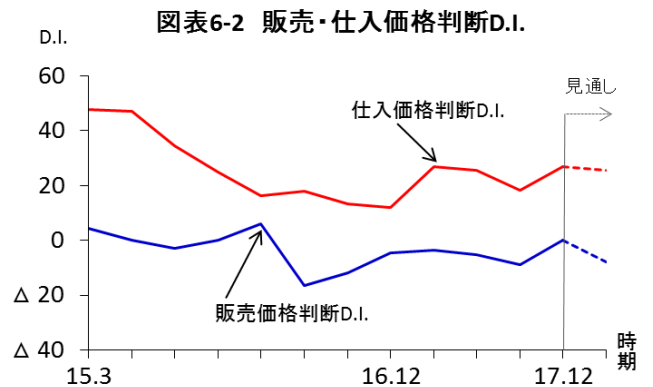
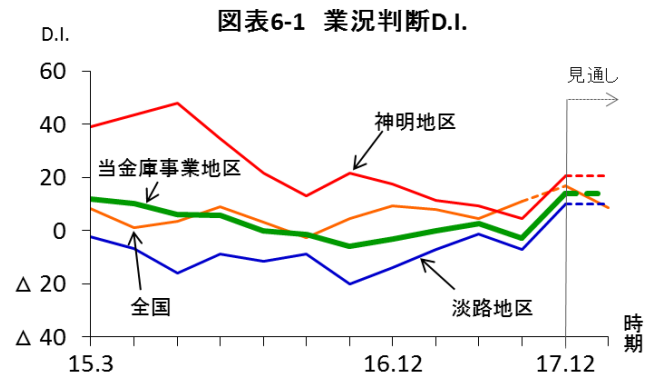
長年の下積みを実を結び、営業基盤に厚みができつつある。売上高は一進一退だが、粗利益率は改善されている。また、今後につながる仕事の受注も増加傾向で業況は良好である。  
(神戸市)



## 業況改善しプラス水準となるも 人手不足は全業種中最低

- 業況は、13.9 と前期の▲2.7 から 16.6 ㊦改善しプラス水準となり、6 業種の中で最も良い。来期も横ばいで推移する見通し。地区別に見ると、淡路で 9.9 と 17.0 ㊦改善、神明で 20.5 と 15.8 ㊦改善した。(図表 6-1)
- 仕入価格は 27.0 と前期比 8.6 ㊦上昇したが、販売価格も 0.0 と同 8.8 ㊦上昇、さらに売上額も 12.2 と同 25.4 ㊦改善し、収益は▲1.7 と同 10.6 ㊦改善した。(図表 6-2、6-3)
- 人手不足は▲前期比 11.0 ㊦低下の▲49.6 となり、6 業種の中で人手不足感が最も強かった。資金繰りは 12.2 と前期の▲3.5 からプラス水準に転じ、資金繰りは改善された。設備投資実施企業割合は 32.2% と同 1.6 ㊦増加した。(図表 6-4)

	(D.I.)		
	2017年 7~9月 (前期)	2017年 10~12月 (今期)	2018年 1~3月 (見通し)
業況	-2.7	13.9	13.9
売上額(前期比)	-13.2	12.2	3.5
売上額(前年同期比)	-7.9	0.0	
収益(前期比)	-12.3	-1.7	-7.0
収益(前年同期比)	-6.1	-5.2	
販売価格(前期比)	-8.8	0.0	-7.9
仕入価格(前期比)	18.4	27.0	25.4
人手過不足(過剰-不足)	-38.6	-49.6	-45.6
資金繰り(楽-苦)	-3.5	12.2	4.4
設備投資実施企業割合(%)	30.6	32.2	24.1



### ○お客様の声

同業者間競争激しく厳しい外部環境が続いているが、大手企業にない地元企業ならではのサービス提供により差別化を図っており、受注状況は良好。今後も安定した受注を見込んでいる。(淡路市)

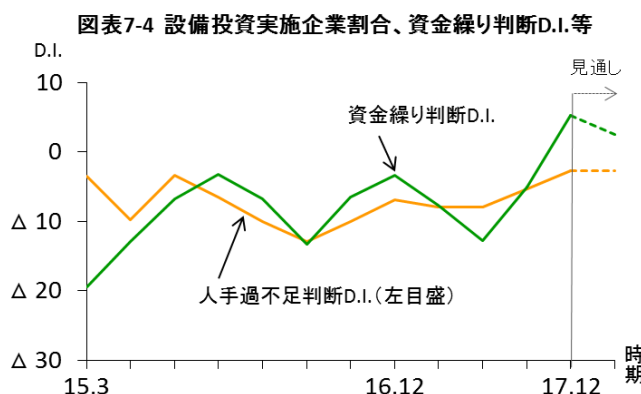
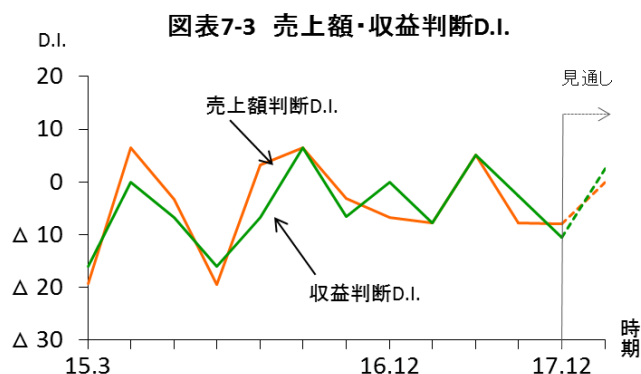
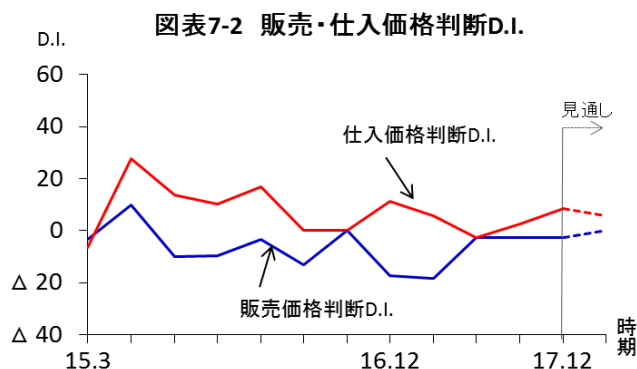
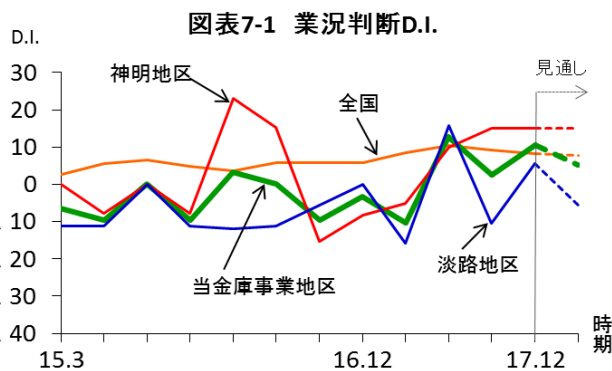
材料費が上昇傾向にあり収益力の維持が必要と感じている。阪神間のマンション建設は盛況で、来年も受注確保できる見通し。また、三宮駅周辺の開発事業もあり若干景気は上向く予想。(明石市)

業況は前期に続き改善

・業況は 10.5 と前期比 7.9 ㊦改善した。来期は 5.3 と 5.2 ㊦低下するもプラス水準を維持する見通し。地区別に見ると、神明は 15.0 と好調を維持、淡路は前期の▲10.5 からプラス転換して 5.6 と大きく改善したが、来期は再びマイナス水準に転じる見通し。(図表 7-1)

・仕入価格は 8.3 と前期比 5.7 ㊦上昇するも販売価格は横ばいで推移し▲2.7 と、利幅は縮まるなか、売上額も▲7.9、同 0.2 ㊦低下と伸び悩み、収益は▲10.5 と同 7.9 ㊦低下した。(図表 7-2、7-3)

・人手不足は▲2.7 (前期は▲5.3) となり幾分和らいだ。資金繰りは前期の▲5.1 からプラス転換して 5.3 となり改善された。(図表 7-4)



	(D.I.)		
	2017年 7~9月 (前期)	2017年 10~12月 (今期)	2018年 1~3月 (見通し)
業況	2.6	10.5	5.3
売上額(前期比)	-7.7	-7.9	0.0
売上額(前年同期比)	2.6	2.6	
収益(前期比)	-2.6	-10.5	2.6
収益(前年同期比)	-7.7	-5.3	
販売価格(前期比)	-2.6	-2.7	0.0
仕入価格(前期比)	2.6	8.3	5.6
人手過不足(過剰-不足)	-5.3	-2.7	-2.7
資金繰り(楽-苦)	-5.1	5.3	2.6

○お客様の声

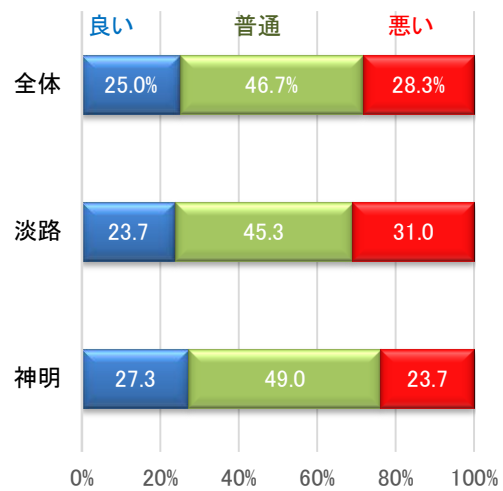
空き家・古民家と島内移住希望者とのマッチングなどを行い、淡路島の発展に努めている。(淡路市)

不動産市況好況で、当社の売上・収益も増加を見込んでいる。建売については回転よく売却できているが商品土地の確保が難しくなっている。(神戸市)

# 特別調査 2018年（平成30年）の経営見通し

## 問1 2018年の日本の景気見通し

2018年の我が国の景気見通しについては、「良い」（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）と回答する割合が25.0%、「悪い」（「非常に悪い」・「悪い」・「やや悪い」の合計）と回答する割合が28.3%となり、結果、「良い（A）－悪い（B）」は▲3.2と1年前の調査（▲33.0）と比べ30ポイント近く改善した。地区別では神明で3.5と見通しは明るい。規模別では従業員数が大きくなるにつれて見通しが明るくなる傾向が見られた。業種別では小売業で▲15.9と見通しは慎重であるが、サービス業1.1、不動産業15.8と見通しは明るい。

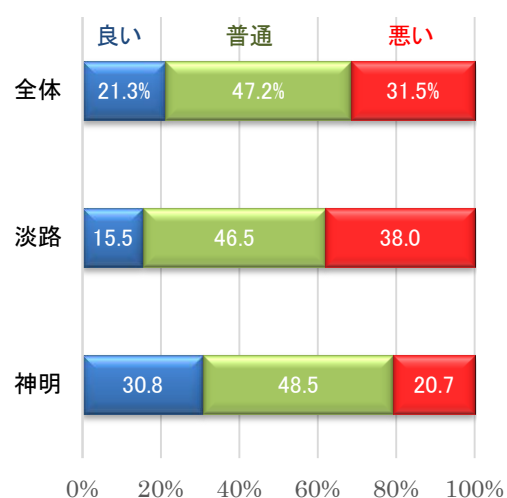


(単位:%)

		良い (A)				普通	悪い (B)				(A) - (B)
		非常に良い	良い	やや良い	非常に悪い		悪い	やや悪い			
全体	2018年見通し	25.0	0.4	6.6	18.0	46.7	28.3	21.6	5.9	0.8	▲ 3.2
	2017年見通し	12.3	0.0	1.0	11.3	42.4	45.3	35.0	9.7	0.6	▲ 33.0
	2016年見通し	15.8	0.0	2.8	12.9	41.0	43.2	35.3	7.3	0.6	▲ 27.4
地区別	淡路地区	23.7	0.6	6.7	16.4	45.3	31.0	22.8	7.0	1.2	▲ 7.3
	神明地区	27.3	0.0	6.6	20.7	49.0	23.7	19.7	4.0	0.0	3.5
規模別	1 ~ 4人	21.0	0.5	6.3	14.1	46.8	32.2	22.0	8.8	1.5	▲ 11.2
	5 ~ 9人	28.5	0.8	7.7	20.0	37.7	33.8	26.2	6.9	0.8	▲ 5.4
	10 ~ 19人	23.1	0.0	5.5	17.6	56.0	20.9	18.7	2.2	0.0	2.2
	20 ~ 29人	21.9	0.0	3.1	18.8	46.9	31.3	28.1	3.1	0.0	▲ 9.4
	30 ~ 39人	18.5	0.0	3.7	14.8	63.0	18.5	18.5	0.0	0.0	0.0
	40 ~ 49人	42.9	0.0	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9
	50 ~ 99人	52.4	0.0	9.5	42.9	33.3	14.3	14.3	0.0	0.0	38.1
	100 ~ 199人	33.3	0.0	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7
	200 ~ 299人	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
300人~	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
業種別	製造業	27.9	1.6	6.2	20.2	41.9	30.2	24.0	5.4	0.8	▲ 2.3
	卸売業	24.0	0.0	4.0	20.0	49.3	26.7	13.3	10.7	2.7	▲ 2.7
	小売業	15.9	0.0	2.4	13.4	52.4	31.7	24.4	6.1	1.2	▲ 15.9
	サービス業	26.1	0.0	5.7	20.5	48.9	25.0	18.2	6.8	0.0	1.1
	建設業	24.3	0.0	8.7	15.7	46.1	29.6	26.1	3.5	0.0	▲ 5.2
不動産業	36.8	0.0	18.4	18.4	42.1	21.1	18.4	2.6	0.0	15.8	

## 問2 2018年の自社の業況見通し

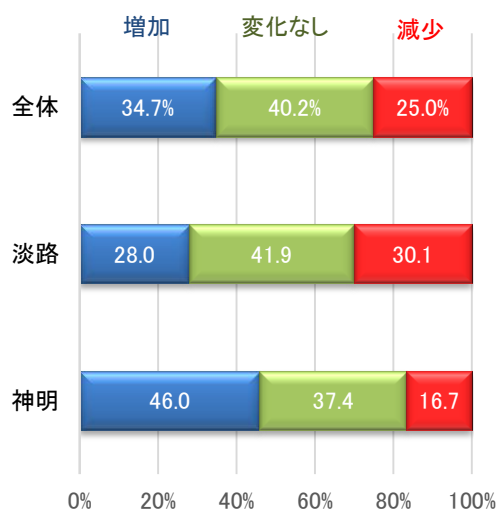
2018年の自社の業況見通しを「良い(A)－悪い(B)」で見ると、▲10.2と1年前の調査に比べて12.3ポイント改善した。地区別に見ると、神明地区で10.1と見通し明るく、規模別に見ると、従業員数が大きくなるにつれて見通しが明るくなるなど、我が国の景気見通しと同様の傾向がみられた。業種別に見ると「良い(A)－悪い(B)」がプラスになった業種はなかったが、不動産業で0.0と見通しは悪くはなかった。



		良い (A)	非常に良い	良い	やや良い	普通	悪い (B)	やや悪い	悪い	非常に悪い	(A)－(B)
全体	2018年見通し	21.3	0.6	5.3	15.4	47.2	31.5	24.7	5.7	1.1	▲ 10.2
	2017年見通し	12.5	0.0	2.3	10.3	52.4	35.0	29.6	3.9	1.6	▲ 22.5
	2016年見通し	14.8	0.3	2.8	11.6	47.8	37.4	30.2	6.0	1.3	▲ 22.6
地区別	淡路地区	15.5	0.6	3.6	11.2	46.5	38.0	29.5	7.0	1.5	▲ 22.5
	神明地区	30.8	0.5	8.1	22.2	48.5	20.7	16.7	3.5	0.5	10.1
規模別	1～4人	13.7	0.5	5.4	7.8	49.8	36.6	28.3	6.8	1.5	▲ 22.9
	5～9人	19.2	1.5	4.6	13.1	43.8	36.9	26.2	9.2	1.5	▲ 17.7
	10～19人	27.5	0.0	5.5	22.0	51.6	20.9	18.7	1.1	1.1	6.6
	20～29人	21.9	0.0	3.1	18.8	46.9	31.3	28.1	3.1	0.0	▲ 9.4
	30～39人	37.0	0.0	7.4	29.6	33.3	29.6	25.9	3.7	0.0	7.4
	40～49人	42.9	0.0	0.0	42.9	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6
	50～99人	52.4	0.0	9.5	42.9	33.3	14.3	14.3	0.0	0.0	38.1
	100～199人	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	16.7	0.0	▲ 16.7
	200～299人	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
300人～	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
業種別	製造業	27.1	1.6	4.7	20.9	41.9	31.0	23.3	6.2	1.6	▲ 3.9
	卸売業	18.7	0.0	8.0	10.7	54.7	26.7	18.7	4.0	4.0	▲ 8.0
	小売業	13.4	0.0	1.2	12.2	45.1	41.5	34.1	6.1	1.2	▲ 28.0
	サービス業	21.6	0.0	4.5	17.0	46.6	31.8	26.1	5.7	0.0	▲ 10.2
	建設業	22.6	0.0	7.0	15.7	45.2	32.2	25.2	7.0	0.0	▲ 9.6
不動産業	18.4	2.6	7.9	7.9	63.2	18.4	15.8	2.6	0.0	0.0	

### 問3 2018年の自社の売上額の伸び率

2018年の自社の売上額見通し（伸び率）を「増加（A）－減少（B）」でみると、1年前の調査▲5.8からプラスに転じて9.7となった。地区別では神明（29.3）はプラス、淡路でも▲2.1とマイナス幅は小さかった。規模別では1～4人を除くすべての階層でプラスとなり、売上額は増加見通しとなった。業種別では小売業を除く5業種でプラス、とりわけ製造業、卸売業でプラス20以上と増加見通しと回答した企業割合が多かった。



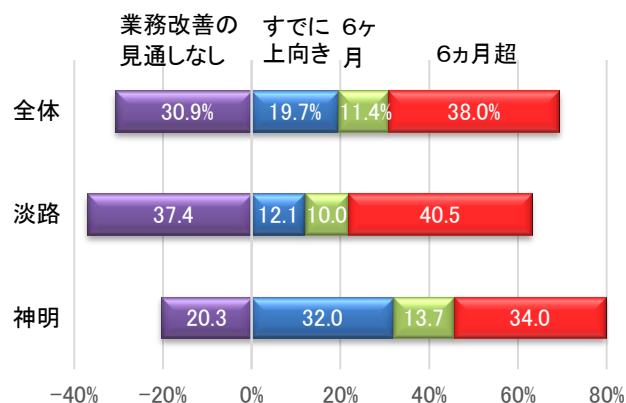
(単位:%)

		増加 (A)					変化なし	減少 (B)					(A) - (B)
		増加 (A)	30%以上	20~29%	10~19%	10%未満		減少 (B)	10%未満	10~19%	20~29%	30%以上	
全体	2018年見通し	34.7	1.3	1.5	9.5	22.4	40.2	25.0	14.6	7.2	2.3	0.9	9.7
	2017年見通し	25.9	1.3	0.6	5.8	18.1	42.4	31.7	19.4	7.8	2.9	1.6	▲ 5.8
	2016年見通し	25.5	2.5	1.3	4.4	17.3	41.2	33.3	24.2	6.0	1.3	1.9	▲ 7.9
地区別	淡路地区	28.0	0.9	1.5	5.8	19.8	41.9	30.1	17.0	8.2	3.3	1.5	▲ 2.1
	神明地区	46.0	2.0	1.5	15.7	26.8	37.4	16.7	10.6	5.6	0.5	0.0	29.3
規模別	1～4人	23.4	1.5	0.5	7.3	14.1	48.3	28.3	16.1	8.8	2.4	1.0	▲ 4.9
	5～9人	33.1	1.5	3.1	10.0	18.5	40.8	26.2	15.4	6.9	1.5	2.3	6.9
	10～19人	44.0	0.0	2.2	15.4	26.4	34.1	22.0	12.1	6.6	3.3	0.0	22.0
	20～29人	34.4	3.1	0.0	6.3	25.0	43.8	21.9	12.5	3.1	6.3	0.0	12.5
	30～39人	48.1	0.0	0.0	11.1	37.0	18.5	33.3	22.2	11.1	0.0	0.0	14.8
	40～49人	71.4	14.3	0.0	0.0	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4
	50～99人	76.2	0.0	4.8	4.8	66.7	14.3	9.5	4.8	4.8	0.0	0.0	66.7
	100～199人	66.7	0.0	0.0	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	200～299人	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
300人～	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
業種別	製造業	41.1	0.8	3.1	10.1	27.1	38.0	20.9	11.6	6.2	2.3	0.8	20.2
	卸売業	40.0	1.3	0.0	13.3	25.3	40.0	20.0	9.3	8.0	1.3	1.3	20.0
	小売業	24.4	0.0	1.2	4.9	18.3	41.5	34.1	26.8	6.1	0.0	1.2	▲ 9.8
	サービス業	36.4	1.1	0.0	9.1	26.1	37.5	26.1	17.0	6.8	2.3	0.0	10.2
	建設業	32.2	0.9	1.7	10.4	19.1	42.6	25.2	11.3	8.7	4.3	0.9	7.0
	不動産業	28.9	7.9	2.6	7.9	10.5	44.7	26.3	13.2	7.9	2.6	2.6	2.6

#### 問4 自社の業況が上向く転換点

自社の業況が上向く転換点については、「すでに上向いている」が19.7%と1年前の調査に比べて9.4ポイント増加した。一方、「業況の改善見通しは立たない」は30.9%と前年から0.6ポイント低下するも依然全体の3割以上を占めた。地区別に見ると、神明では「すでに上向き（32.0%）」が「業況改善の見通しは立たない（20.3%）」を上回っているのに対し、淡路では「業況改善の見通しは立たない（37.4%）」が「すでに上向き（12.1%）」を大きく上回っている。

規模別では従業員が少なくなるほど「業況改善の見通しは立たない」とする回答割合が高く、1～4人の階層では39.1%となった。業種別では、「業況の改善見通しは立たない」とする回答割合が小売業で43.2%と厳しい状況が見られた。一方、製造業は20.2%で、「すでに上向き（27.1%）」とする回答割合の方が多かった。

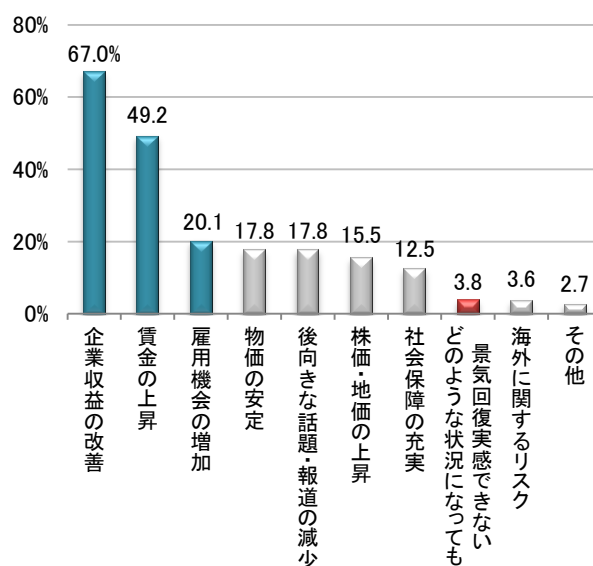


(単位:%)

		すでに上向き	6か月以内	1年後	2年後	3年後	3年超	業況改善の見通しなし
全体	2018年見通し	19.7	11.4	11.6	7.5	7.3	11.6	30.9
	2017年見通し	10.3	10.9	13.6	8.6	14.6	10.6	31.5
	2016年見通し	13.6	9.8	16.7	8.2	11.4	9.1	31.2
地区別	淡路地区	12.1	10.0	12.5	9.3	7.8	10.9	37.4
	神明地区	32.0	13.7	10.2	4.6	6.6	12.6	20.3
規模別	1～4人	15.3	7.4	9.4	6.4	10.4	11.9	39.1
	5～9人	11.9	15.1	9.5	9.5	6.3	12.7	34.9
	10～19人	28.9	11.1	15.6	4.4	3.3	13.3	23.3
	20～29人	19.4	9.7	16.1	19.4	6.5	6.5	22.6
	30～39人	29.6	14.8	25.9	7.4	3.7	3.7	14.8
	40～49人	71.4	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
	50～99人	47.6	23.8	9.5	0.0	0.0	9.5	9.5
	100～199人	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0	16.7	16.7
	200～299人	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
300人～	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
業種別	製造業	27.1	13.2	16.3	4.7	7.8	10.9	20.2
	卸売業	14.9	13.5	6.8	10.8	10.8	10.8	32.4
	小売業	6.2	14.8	11.1	7.4	6.2	11.1	43.2
	サービス業	22.1	7.0	11.6	7.0	8.1	12.8	31.4
	建設業	20.9	10.9	9.1	10.0	1.8	11.8	35.5
	不動産業	23.7	5.3	13.2	5.3	15.8	13.2	23.7

問5 世の中が景気回復をより実感できるには

どのような状況になれば世の中が景気回復をより実感できるかについては、「企業収益の改善(67.0%)」が最も多く、「賃金の上昇(49.2%)」、「雇用機会の増加(20.1%)」「物価の安定(17.8%)」「後ろ向きな話題・報道の減少(17.8%)」と続いた。また、「どのような状況になっても景気回復実感できない」は3.8%であった。



(単位:%)

		企業収益の改善	賃金の上昇	雇用機会の増加	株価・地価の上昇	物価の安定	社会保障の充実	後ろ向きな話題・報道の減少	海外に関するリスク	その他	どのような状況になっても景気回復実感できない
全体		67.0	49.2	20.1	15.5	17.8	12.5	17.8	3.6	2.7	3.8
地区別	淡路地区	61.2	48.5	22.7	15.8	20.0	14.5	19.4	3.6	3.0	5.2
	神明地区	76.8	50.5	15.7	15.2	14.1	9.1	15.2	3.5	2.0	1.5
規模別	1～4人	59.0	49.8	20.5	15.1	17.6	13.2	16.1	2.0	2.9	5.4
	5～9人	70.0	46.2	20.0	16.2	16.9	10.8	19.2	4.6	0.8	4.6
	10～19人	76.9	57.1	17.6	19.8	18.7	13.2	14.3	2.2	4.4	3.3
	20～29人	71.9	40.6	9.4	18.8	18.8	12.5	28.1	6.3	3.1	0.0
	30～39人	81.5	44.4	29.6	3.7	22.2	11.1	14.8	7.4	3.7	0.0
	40～49人	57.1	57.1	28.6	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0
	50～99人	66.7	42.9	23.8	4.8	19.0	4.8	23.8	4.8	4.8	0.0
	100～199人	100.0	66.7	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	200～299人	50.0	100.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
300人～	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
業種別	製造業	68.2	44.2	20.2	14.0	15.5	11.6	17.1	6.2	2.3	3.9
	卸売業	73.3	52.0	18.7	20.0	20.0	10.7	18.7	2.7	4.0	6.7
	小売業	62.2	41.5	20.7	9.8	19.5	12.2	18.3	2.4	0.0	6.1
	サービス業	67.0	53.4	18.2	14.8	18.2	13.6	23.9	3.4	6.8	1.1
	建設業	69.6	54.8	20.9	13.0	19.1	13.0	14.8	2.6	0.9	3.5
	不動産業	53.8	51.3	23.1	33.3	12.8	15.4	12.8	2.6	2.6	0.0

(備考)最大3つまで複数回答

## 日銀短観との比較

日銀が12月15日に発表した12月の「全国企業短期経済観測調査（短観）」と「わたしたちのマチの景況レポート」を比較してみました。

短観と比較して景況レポートは地元中小企業を中心に調査しているため、地域の実態がより強く反映されています。短観とともに地元経済の動向把握に活用いただけると幸いです。

### 業況判断D.I.の推移（9月→12月）

	日銀短観 中小企業		日銀短観 神戸支店 中小企業		わたしたちのマチの 景況レポート	
製造業	10 → 15	鉄鋼や非鉄金属などの景況感が大きく改善し5ポイント上昇	4 → 11	鉄鋼や汎用機械など幅広い業種で伸び、前回比7ポイント上昇	0.0 → 5.4	材料費の値上りをカバーし、景況感は過去最高にまで上昇
非製造業	8 → 9	宿泊・飲食サービス等、労働集約型産業を中心に労働力不足が深刻化	-3 → 4	建設や対事業所サービスが改善し、7ポイント上昇	-8.1 → -5.3	業況は幾分改善するも、建設業、サービス業の人手不足が深刻
全産業	9 → 11	景況感が高まるなか、人手不足の深刻さが影を落としている	1 → 8	2 四半期ぶりに向上し7ポイント上昇するも雇用は大幅に不足	-6.1 → -2.7	景況感はプラスの神明とマイナスの淡路の差がさらに拡大



個人向け信託商品

しんきん相続信託 ころのボタン  
しんきん暦年信託 ころのリボン

のご案内

当金庫では、お客さまの円滑な相続・贈与のニーズにお応えするため、信金中央金庫と信託代理店契約を結び、以下の2種類の商品を取り扱っております。詳しくは、最寄りの営業店までお問合せください。

しんきん相続信託 **ころのボタン**

しんきん暦年信託 **ころのリボン**



ご自分の将来やご家族の未来のための資金を予め準備できます。



お子さまへ、お孫さまへ、ご家族へ、生前贈与をサポートします。

キャッシュカード振込機能の一部利用制限について

全国的にキャッシュカードによる振込に不慣れな高齢のお客さまをATMに誘導して預金を振り込ませる「還付金詐欺」「振り込め詐欺」が急増しており、今後も被害の拡大が懸念されております。

当金庫では、振り込め詐欺を未然に防ぐために、平成29年10月20日よりキャッシュカードを利用したATMでのお振込みを一部制限させていただいております。利用制限は、キャッシュカードで3年以上ATM振込をしていない70歳以上のお客さまが対象です。今後もお客さまの大切な資産を守るため、詐欺被害防止に向けて積極的に取り組んでまいります。

大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。



今年も「かいぼり」に参加しました！

1月6日、洲本市五色町鮎原上の八涼池にて地元の農漁業者や県民局、洲本市の職員たちに当金庫職員らも加わり約90名で「かいぼり」が行われました。

かいぼりとは、ため池の水を抜いて池底の腐葉土に放水し川へ流す作業で、ため池の維持管理に加え海の栄養価を高める効果があります。作業後には懇親会も催され、地域の方々と交流を深めることができました。



## 平成 30 年 1 月 30 日（火）「新春講演会」開催

来る平成 30 年 1 月 30 日（火）に、ジャーナリスト 長谷川 幸洋氏を講師にお招きし、「政治・日本経済～これからの日本を展望する～」と題し、新春講演会を開催いたします。

長谷川氏は読売テレビ「そこまで言って委員会N.P」、BS朝日「激論！クロスファイア」などテレビに出演、切れ味の鋭い口調で人気を博しています。どなたでもご参加いただけますので、多くの方のご来場をお待ちしております。



日 時：平成 30 年 1 月 30 日（火）午後 1 時 30 分～午後 3 時（開場午後 1 時）

場 所：ホテルニューアワジ 鳳凰の間